

キーワード

keywords

ソフトウェアメトリクス、ヒューマンファクタ、データマイニング

英語表記

専門分野

Specialties

ソフトウェア工学

英語表記

対象業種

情報通信業、教育・学習支援業

技術・教育相談

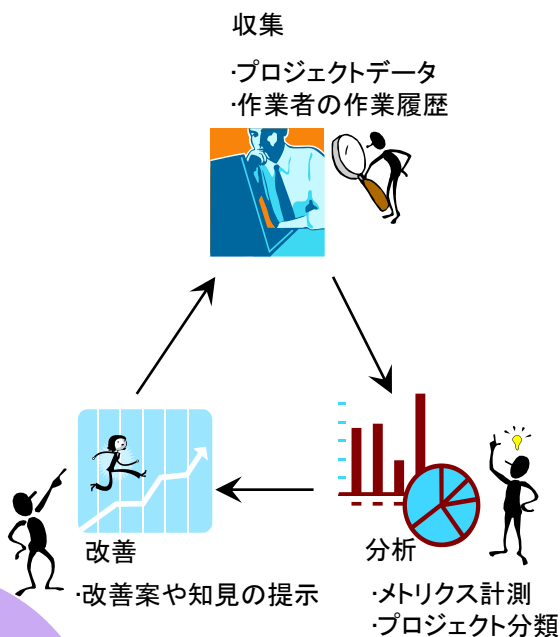
ソフトウェア開発プロセスの改善について  
情報教育の環境や方法について

著書・論文等

門田暁人、内田眞司、松本健一、”実装者に依存しないプログラム規模尺度の構築の  
試み”、コンピュータソフトウェア、Vol. 28, No. 4, pp.377-382, 2011.  
松村寿枝、内田眞司、山口智浩、”Squeakを用いた小中学生のためのプログラミング  
講座 - 奈良高専情報工学科公開講座 - ”、高専教育34号、pp.685-689, March 2011.

本研究の特徴

- ・ソフトウェア開発プロセスを**定量化**することで、**プロセス改善**の方針を提示します
- ・過去のデータから**規則(ルール)**を抽出し、**未来を予測**します



ソフトウェア開発における開発プロセスやプロダクト(成果物)の**品質を評価・予測**するためには、対象物を定量化した後、計測・分析し形式知の形に(**見える化**)する必要があります。研究室では、以下に焦点をあてて研究を行っています。

- ・ソフトウェア開発プロジェクトの**工数の予測**  
過去のプロジェクトで記録されたプロセスメトリクスを用いて開発中のプロジェクトの工数見積もりを行います。
- ・設計ドキュメントの**レビュー手法**  
UMLで記述された設計ドキュメントに対するオーバーホール手法(分解と再統合)によるレビュー手法の提案と評価を行います。
- ・ソースコードの**理解性評価**  
確率的評価モデルを用いて、プログラムの理解性を評価して保守の方針を示します。